

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 104	提案機関名 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
<b>要望問題名</b> 人工林における水源林整備後の針広混交林への推移の検証	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 水源の森林づくり事業では、水源の森林エリア内において、スギ・ヒノキなどの針葉樹の人工林を借上げ、針葉樹と広葉樹が混生する針広混交林を目指して、間伐などにより林内を明るくし、土地本来の広葉樹等が生育する環境を整える整備を進めている。 これまで、森林整備と併せて、林内の光環境、下層植生、土壌浸食の状況についてモニタリングを実施し、事業の効果を確認するとともに、得られた知見を事業に反映することで効果的な事業の進捗に努めてきた。 平成29年度以降、契約満了に伴い、所有者へ森林を返還していくが、整備後の森林が針広混交林に推移していくには時間を要し、また、不確実な要素があると考えられる。 このことから、契約を満了して所有者に返還した森林を対象に、これまでのモニタリング項目に、林分構造の調査を加え、針広混交林への推移の状況を検証し、森林の持つ公益的機能の持続に向けた森林管理のあり方を検討すること、及び効果的な整備技術の検討を要望する。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター   ②畜産技術センター   ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	自然環境保全センター	<b>担当部所</b>	研究企画部研究連携課
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中   ③継続検討   ④実施済   ⑤調査指導対応   ⑥現地対応   ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 混交林の管理技術の改良			
<b>対応の内容等</b> 当センターにおきましても同様の認識にたっています。そこで、平成29年度からこれまでの下層植生の調査に加えて、林分構造（樹種、直径、樹高、樹冠長、樹冠幅、樹幹の状態等）を調査することとしました。数年にわたり調査データを蓄積することで、針広混交林への推移状況と課題を整理して、返還後の森林管理のあり方や管理技術について検討していきます。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
<b>備考</b>			